

2009

3月

第12号



# ウッディとよた

WOODY TOYOTA COMMUNICATION 通信



【発行日】平成21年3月25日  
【発 行】豊田森林組合

〒444-2424  
豊田市足助町横枕3番地1  
TEL 0565-61-1616  
FAX 0565-61-1617

〈Eメール〉  
soumu@woodytoyota.net  
〈ホームページ〉  
<http://www.woodytoyota.net/>

●表紙 大竹勝彦さん(3ページで紹介)

## 足助支所

豊田市足助町横枕3-1  
電話 62-1818 FAX 62-2163



# 森づくり会議の設立と 団地づくりを重点に

▲市森づくり団地の第1号と認定された篠塩平団地で組合長、市長が参加して間伐作業がスタートした(昨年10月16日)

足助地区をご紹介します。足助地区には、全国的に有名な紅葉の名所として知られる香嵐渓があり、秋には多くの観光客が訪れます。香嵐渓が立地する観光地は、中部に位置し、東部、西部、北部地域がこれを取り巻いています。

足助支所は、どこかと言いますと、豊田森林組合本所に併設して、足助地区の組合員さんの山を始めとする山仕事に担当職員3人、作業員30人余が従事して「足助の山を良くする」という気持ちで毎日、

頑張っています。中でも、豊田市と森林組合が協働して推進している「森づくり会議」の設立のため各地域で地域説明会を開催しています。説明会では、組合員の皆さんに森林施業の大切さや「間伐」作業の必要性を説明し、参加者からは、多くの質問や意見をいただいています。

こうした取り組みの結果、野林町地内に誕生した「篠塩平団地」が豊田市森づくり団地の第1号として市から認定されました。この団地は、7人が所有する森林約9haです。昨年10月16日には、市長や組合長らが参加して団地内の間伐作業を行いました。今年2月末現在、足助支所管内では、12地区で森づくり会議が設立し、森林整備を行うための施業計画づくりが進んでいます。

足助支所の担当職員は、3人で足助地区全域をカバーしているため、時には、不在となる場合があります。ご用命の時は、支所職員以外の職員が対応しますので、是非、組合事務所にお立ち寄りください。  
(小澤秀年/記)

### ● 森林学校ニュース ●

#### セミプロ林业作業者育成講座

昨年10月4日から始まり、全15回講座が今年3月1日に終了しました。人工林の基本的な座学を4回行った後、足助地区月原市有林で、間伐から出材までを学びました。伐倒・造材を繰り返し行い、初めはぎこちなかつた皆さんも、研修が終るころには見違えるようになりました。今後の活躍を期待します。



表紙の

# 人物紹介

今回ご紹介するのは、豊田森林組合作業員の大竹勝彦さんです。大竹さんは伐木作業歴50年以上になるベテランで、これまで名木と呼ばれるような木を多く伐っています。今までで伐った中で一番太かったのは最大直径が5mにもなるスギと聞き驚きです。手際のよさや材の仕上がりの良さなど、その仕事ぶりなどは、まさに木を伐るプロです。森林組合では、主に林産の伐木作業(立木を伐倒し、枝を払い、利用するのに適当な長さに切り出荷用の材にするまでの作業)を行っており、現在は香嵐渓の間伐作業を行なっています。

豊田市は“100年先も美しく感動のある香嵐渓にする”として、平成20年から5年計画で香嵐渓飯盛山の整備に取り組んでいます。今年度は、香積寺参道沿いのスギ・ヒノキを中心に81本を間伐します。作業は豊田森林組合が受注し、大竹さんと数名の若手作業員が担当しています。現場はスギやヒノキの下層にカエデ類が生えており、下層のカエデ類を痛めないように間伐を進めています。そのため、クレーンで吊って上部

から少しずつ伐って降ろすという特殊な伐採方法で作業します。大竹さんと若手の佐藤さんがペアとなり、高所作業車を使って枝払いと幹を伐り、も

う1台のクレーンで木を吊って切り離した部分を地上に降ろします。なかなか大変な作業だと思いお話を伺うと、周りの木を痛めないよう慎重さを要することに加え、高所での作業とあって、1日終るとどっと疲れるそうです。とはいって、今は若い人達と一緒に作業ができる楽しいとおっしゃる大竹さん。作業中は、若い人達にできるところは少しずつ任せ、後継者の育成を大切にしています。ご自身はどうやって技術を磨いたのかと伺うと、センスと経験だとのこと。これだけは他の人には負けないというプロ意識も技を磨くには欠かせないようです。でも、木を伐る仕事は、毎回現場の状態も違えば、どんな木かによって用途も違い、伐り方も異なるとあってやはり経験が大事。若い人達が大竹さんのように経験が豊富なベテランと一緒に仕事をすることで得られるものも多いはずです。若い人達がいつか大竹さんを越えるようなプロに育ってくれることを期待したいと思います。

(中尾真季/記)



高所作業車を使って間伐する大竹勝彦さんの作業の様子



## 「プロ意識は技術の向上に不可欠」

●香嵐渓の間伐を行った

**大竹 勝彦さん** (豊田森林組合作業員 63歳)

2009年度の講座紹介



山をもっているけれど…  
管理の仕方がわからない。  
森林の基礎知識、管理や経営について学びたい。

### 《山主森林経営講座》

日程：5月2日(土)～9月26日(土) 全9回

内容：森林の仕組みと働き、野生植物、間伐の必要性、原木きのこ栽培、森林経営の心得、間伐体験、木材評価と市場見学、持ち山見学会など

定員：10名 (定員を超えた場合は抽選)

参加費：9回分一括 9,000円 (別途材料費)

申し込み締切：4月10日(金)

※他にも各種講座を開催します!ご希望の方にはパンフレットをお送りしますのでお気軽にお問い合わせください。(0565-61-1618)



自分で山の手入れをしたいけれど  
経験がなくてわからない。  
チェンソーを使って山仕事  
(間伐中心) の基本技術を学びたい。

### 《山主自力間伐講座》

日程：10月19日(月)～23日(金) 連続5日

内容：間伐研修4日間、豊田市の森づくりとまとめ  
定員：10名(定員を超えた場合は抽選)

参加費：5回分一括 5,000円

申し込み締切：9月28日(月)



## 間伐をやろうよ!

### 高率の補助制度を利用して……

豊田市内のスギとヒノキの人工林の面積は、約3万haあります。そのうち間伐手遅れ状態にある人工林は、約2万haと推測され、その多くは、私有林となっています。間伐や下刈り、枝払いなどの森林整備に対して、国、県、市、矢作川水源基金からの補助があります。こうした補助制度を活用して、あなたの山(森林)の価値を高めてはいかがですか。



### 自分で作業をする場合

補助対象となる面積は、1作業地につき5ha(畝)以上の作業面積が必要となります。補助金額は、林齢や作業内容、面積などによって決まりますが、5ha(畝)当たり3,000円～7,100円となります。

作業に取りかかる前に、豊田森林組合へご相談ください。

### 豊田森林組合へ作業を委託する場合

自分では山林作業(地拵え、植林、下刈り、間伐など)が出来ない人は、豊田森林組合が組合員に替わって、山林作業を行います。この場合でも、補助を受けることができます。

補助対象となる面積は、自力と同じように5ha(畝)以上の作業面積が必要となります。補助金額は、間伐作業にかかった費用(事業費)から補助金を差し引く方法をとっています。従って、組合員が負担する金額は、地形や林齢、樹種などによって異なりますが、概ね、10ha(1反)当たり、2,000円～5,000円が必要となります。

当森林組合としては、作業の低コストに努めると同時に、木材の利活用を進め、組合員の負担額の軽減を図るため、様々な取り組みを行っています。

編集後記



早いもので今年度も残すところ、あとわずかです。

暖冬だった今年、桜の開花予想も例年より早いそうです。

このウッディー通信が皆様のお手元に届く頃には桜が咲き誇っているのかな、などと思いながらパソコンに向かっています。社会人1年目の私にとっては全てが勉強の1年間でした。山の歩き方も知らずに組合職員となり、多くのご迷惑をおかけしましたが優しい同僚・温かい組合員さんに支えられ、なんとか1年を過ごすことができました。

初心忘れず頑張っていこうと気持ちを改めた春暖の昼下がりでした。

(鈴木実句／記)

### 名義変更に関するご案内

森林組合は、組合員一人ひとりによって組織されている団体です。現在、豊田森林組合の組合員数は、正組合員が8,620人、准組合員が6人です。事情によって、名義変更や住所変更をされた組合員は、変更の手続きを行っていただくこととなっています。

相続による、名義変更是「相続による加入申込書」と「遺産分割協議書」「相続証明書」等の証明資料を添付して申請してください。住所変更の際には「変更届」と「移転先住所の証明(免許証コピー等)」で変更処理ができます。なお、申請書は当組合のホームページからもダウンロードできますので、ご利用ください。なお、電話での資料請求もできますので、問い合わせ下さい。

[お問合せ／提出先] 〒444-2424 豊田市足助町横枕3番地1  
豊田森林組合総務課 TEL 0565-61-1616 FAX 0565-61-1617